

840 高等試験弁護士試験及第者謝恩会

〔『法学新報』第35卷2(397)号 大正14年2月1日〕

○高等試験弁護士試験及第者謝恩会 今次挙行の高等試験行政

科司法科及弁護士試験登第者の内中央大学の出身者は総數五十余名ありしか聊か吾人門出の喜を分ち且母校並諸先生の高恩に感謝の微衷を表せんか為め去十二月十九日(金曜)午後五時上野精養軒に於て例に依り謝恩会を催したり定刻参会する者二十二名定刻に至り宴を開きて其のデザートコースに入るや大沼米吉君登第者を代表して開会の辞を述へ之に對して理事馬場(愿治)博士起て吾等の将来に關し社会の為め母校の為に懇諭せらるる所あり續いて各自順次起つて氏名生國受験の感想将来の抱負を述へ一同乾杯して母校の万歳を唱へて散会したるは九時を過ぐ当日出席せられたるは馬場(愿)理事佐藤理事堀予科長大松教務主任、鳩山正夫、盛本完、米本二郎、小野正一、村上太七、小玉治行、坂本秋男、白石八郎、酒井權太郎、西村一成、吉竹安兵衛、大沼米吉、浦本貫<sup>(巻)</sup>一、木村誠次、鈴木清蒸、中直二郎、杉村傳、梅本好則の諸氏なりき(發起人記)